

商品名 デキサート注射液3.3mg 医薬品基本情報

薬効	2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤	一般名	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム注射液
英名	Dexart	剤型	注射液
薬価	173.00	規格	3.3mg 1mL 1管
メーカー	富士製薬	毒劇区分	

デキサート注射液3.3mgの効能・効果

甲状腺中毒症、甲状腺<中毒性>クリーゼ、特発性低血糖症、副腎クリーゼ、急性副腎皮質機能不全、リウマチ性心炎、リウマチ熱、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、慢性円板状エリテマトーデス、顕微鏡的多発血管炎、結節性多発動脈炎、高安動脈炎、多発血管炎性肉芽腫症、全身性血管炎、ネフローゼ、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全、気管支喘息、血清病、中毒疹、薬剤アレルギー、薬疹、化学物質アレルギー、化学物質中毒、薬剤中毒、アナフィラキシーショック、喘息発作重積状態、急性白血病、再生不良性貧血、紫斑病、皮膚白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病、免疫性溶血性貧血、凝固因子の障害の出血性素因、顆粒球減少症、潰瘍性大腸炎、限局性腸炎、(癌末期、重症消耗性疾患、スプルー)の全身状態の改善、劇症肝炎、肺線維症、びまん性間質性肺炎、放射線肺臓炎、重症感染症、脊髄炎、脳炎、脳脊髄炎、一次性脳炎の頭蓋内圧亢進症状、視束脊髄炎、重症筋無力症、多発性硬化症、末梢神経炎、ギランバレー症候群、菌状息肉症、好酸性肉芽腫、細網肉腫症、皮膚細網症、ホジキン病、リンパ肉腫症、悪性リンパ腫、抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状<悪心・嘔吐>、侵襲後肺水腫、気管支痙攣、外科的ショック、外科的ショック様状態、脳浮腫、副腎摘除、輸血による副作用、脊髄浮腫、(視神経、内眼、眼窩、眼筋)の炎症性疾患の対症療法、(眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、視神経炎、網膜血管炎、網脈絡膜炎、ブドウ膜炎、眼筋麻痺)の対症療法、(外眼部、前眼部)の炎症性疾患の対症療法、(角膜炎、眼瞼炎、強膜炎、結膜炎、虹彩毛様体炎)の対症療法、眼科領域の術後炎症、急性感音性難聴、急性中耳炎、喉頭炎、耳管狭窄症、進行性壊疽性鼻炎、慢性中耳炎、メニエル症候群、メニエル病、喉頭ポリープ、喉頭結節、滲出性中耳炎、腐蝕性食道炎、喉頭浮腫、食道拡張術後、食道の炎症、直達鏡使用後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、甲状腺中毒症、甲状腺<中毒性>クリーゼ、特発性低血糖症、副腎クリーゼ、急性副腎皮質機能不全、リウマチ性心炎、リウマチ熱、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、慢性円板状エリテマトーデス、顕微鏡的多発血管炎、結節性多発動脈炎、高安動脈炎、多発血管炎性肉芽腫症、全身性血管炎、ネフローゼ、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全、気管支喘息、血清病、中毒疹、薬剤アレルギー、薬疹、化学物質アレルギー、化学物質中毒、薬剤中毒、アナフィラキシーショック、喘息発作重積状態、急性白血病、再生不良性貧血、紫斑病、皮膚白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病、免疫性溶血性貧血、凝固因子の障害の出血性素因、顆粒球減少症、潰瘍性大腸炎、限局性腸炎、(癌末期、重症消耗性疾患、スプルー)の全身状態の改善、劇症肝炎、肺線維症、びまん性間質性肺炎、放射線肺臓炎、重症感染症、脊髄炎、脳炎、脳脊髄炎、一次性脳炎の頭蓋内圧亢進症状、視束脊髄炎、重症筋無力症、多発性硬化症、末梢神経炎、ギランバレー症候群、菌状息肉症、好酸性肉芽腫、細網肉腫症、皮膚細網症、ホジキン病、リンパ肉腫症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状<悪心・嘔吐>、副腎摘除、Senear-Usher症候群、乾癬、乾癬性紅皮症、稽留性肢端皮膚炎、紅皮症、尋常性天疱瘡、スチブンス・ジョンソン病、増殖性天疱瘡、妊娠性疱疹、粘膜皮膚眼症候群、膿疱性乾癬、皮膚口内炎、フックス症候群、ヘブラ紅色斑疹、疱疹状膿痂疹、ライター症候群、落葉状天疱瘡、リップシュッツ急性陰門潰瘍、類天疱瘡、尋常性乾癬<重症例>、蕁麻疹<慢性例を除く重症例に限る>、ベーチェット病<眼症状のない場合>、乾癬性関節炎、開口部びらん性外皮膚症、デューリング疱疹状皮膚炎、天疱瘡群、急性感音性難聴、急性中耳炎、喉頭炎、耳管狭窄症、進行性壊疽性鼻炎、慢性中耳炎、メニエル症候群、メニエル病、喉頭ポリープ、喉頭結節、滲出性中耳炎、腐蝕性食道炎、喉頭浮腫、食道拡張術後、食道の炎症、直達鏡使用後、

耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症、甲状腺<中毒性>クリーゼ、副腎クリーゼ、副腎性器症候群、医原性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、急性副腎皮質機能不全、甲状腺疾患の悪性眼球突出症、特発性低血糖症、強直性脊椎炎、若年性関節リウマチ、スチル病、リウマチ性心炎、リウマチ性脊椎炎、リウマチ熱、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛、強皮症、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、慢性円板状エリテマトーデス、顕微鏡的多発血管炎、結節性多発動脈炎、高安動脈炎、多発血管炎性肉芽腫症、全身性血管炎、ネフローゼ、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全、気管支喘息、血清病、小児喘息性気管支炎、喘息性気管支炎、中毒疹、薬剤アレルギー、薬疹、化学物質アレルギー、化学物質中毒、薬剤中毒、急性白血病、再生不良性貧血、紫斑病、皮膚白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病、免疫性溶血性貧血、凝固因子の障害の出血性素因、顆粒球減少症、潰瘍性大腸炎、限局性腸炎、(癌末期、重症消耗性疾患、スプルー)の全身状態の改善、劇症肝炎、活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変、肝硬変、重症感染症、脊髄炎、脳炎、脳脊髄炎、一次性脳炎の頭蓋内圧亢進症状、視束脊髄炎、重症筋無力症、小舞蹈病、脊髄蜘蛛膜炎、多発性硬化症、末梢神経炎、ギランバレー症候群、顔面神経麻痺、菌状息肉症、好酸性肉芽腫、細網肉腫症、乳癌の再発転移、皮膚細網症、ホジキン病、リンパ肉腫症、悪性リンパ腫、副腎摘除、臓器移植、組織移植、副腎皮質機能不全の外科的侵襲、昆虫毒、重症の虫さされ、蛇毒、卵管整形術後の癒着の防止、前立腺癌、陰茎硬結、亜急性湿疹、アトピー皮膚炎、貨幣状湿疹、急性湿疹、自家感作性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、神経皮膚炎、進行性指掌角皮症、接触皮膚炎、手指の皮膚炎、ビダール苔癬、慢性湿疹、陰部湿疹、外耳道湿疹・皮膚炎、耳介湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎、鼻翼周辺湿疹・皮膚炎、肛門湿疹、乳・幼・小児湿疹、湿疹・皮膚炎群、Senear-Usher症候群、乾癬、乾癬性紅皮症、稽留性肢端皮膚炎、結節性紅斑、紅皮症、尋常性天疱瘡、新生児スクレレーマ、スチブンス・ジョンソン病、成年性浮腫性硬化症、増殖性天疱瘡、妊娠性疱疹、粘膜皮膚眼症候群、膿疱性乾癬、皮膚口内炎、フックス症候群、ヘブラ紅色靴糠疹、疱疹状膿痂疹、ライター症候群、落葉状天疱瘡、リップシュツ急性陰門潰瘍、類天疱瘡、固定蕁麻疹<重症例に限る>、小児ストロフルス<重症例に限る>、掌蹠膿疱症<重症例に限る>、尋常性乾癬<重症例>、多形滲出性紅斑<重症例に限る>、帯状疱疹<重症例に限る>、扁平苔癬<重症例に限る>、蕁麻疹<慢性例を除く重症例に限る>、蕁麻疹様苔癬<重症例に限る>、ペーチェット病<眼症状のない場合>、乾癬性関節炎、開口部びらん性外皮膚症、紅斑症、デューリング疱疹状皮膚炎、天疱瘡群、痒疹群<重症例に限る>、(視神経、内眼、眼窩、眼筋)の炎症性疾患の対症療法、(眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、視神経炎、網膜血管炎、網脈絡膜炎、ブドウ膜炎、眼筋麻痺)の対症療法、(外眼部、前眼部)の炎症性疾患の対症療法、(角膜炎、眼瞼炎、強膜炎、結膜炎、虹彩毛様体炎)の対症療法、眼科領域の術後炎症、アレルギー性鼻炎、花粉症、急性感音性難聴、急性中耳炎、血管運動<神経>性鼻炎、喉頭炎、枯草熱、耳管狭窄症、進行性壊疽性鼻炎、副鼻腔炎、慢性中耳炎、メニエル症候群、メニエル病、喉頭ポリープ、喉頭結節、滲出性中耳炎、腐蝕性食道炎、喉頭浮腫、食道拡張術後、食道の炎症、直達鏡使用後、鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、若年性関節リウマチ、スチル病、関節リウマチ、(強直性脊椎炎、リウマチ性脊椎炎)の四肢関節炎、痛風性関節炎、非感染性慢性関節炎、変形性関節症、非感染性関節周囲炎、非感染性腱炎、非感染性腱周囲炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎、難治性舌炎、非感染性関節周囲炎、非感染性腱炎、非感染性腱周囲炎、非感染性腱鞘炎、非感染性滑液包炎、非感染性関節周囲炎、非感染性腱周囲炎、椎間板ヘルニアの(根性坐骨神経痛、神経根炎)、脊髄浮腫、髄膜白血病、結核性髄膜炎、脊髄炎、脳炎、脳脊髄炎、一次性脳炎の頭蓋内圧亢進症状、視束脊髄炎、重症筋無力症、多発性硬化症、末梢神経炎、ギランバレー症候群、菌状息肉症、細網肉腫症、皮膚細網症、ホジキン病、リンパ肉腫症、悪性リンパ腫、結核性胸膜炎、手術後の腹膜癒着の防止、陰茎硬結、亜急性湿疹、アトピー皮膚炎、貨幣状湿疹、急性湿疹、自家感作性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、神経皮膚炎、進行性指掌角皮症、接触皮膚炎、手指の皮膚炎、ビダール苔癬、慢性湿疹、陰部湿疹、外耳道湿疹・皮膚炎、耳介湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎、鼻翼周辺湿疹・皮膚炎、肛門湿疹、乳・幼・小児湿疹、湿疹・皮膚炎群、尋常性乾癬、早期ケロイド、悪性型円形脱毛症、固定蕁麻疹<重症例に限る>、小児ストロフルス<重症例に限る>、扁平苔癬<重症例に限る>、蕁麻疹様苔癬<重症例に限る>、痒疹群<重症例に限る>、ケロイドの防止、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、卵管整形術後の癒着の防止、潰瘍性大腸炎、限局性腸炎、(視神経、内眼、眼窩、眼筋)の炎症性疾患の対症療法、(眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、視神経炎、網膜血管炎、網脈絡膜炎、ブドウ膜炎、眼筋麻痺)の対症療法、(外眼部、前眼部)の炎症性疾患の対症療法、(角膜炎、眼瞼炎、強膜炎、結膜炎、虹彩毛様体炎)の対症療法、眼科領域の術後炎症、(視神経、内眼、眼窩、眼筋)の炎症性疾患の対症療法、(眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、視神経炎、網膜血管炎、網脈絡膜炎、ブドウ膜炎、眼筋麻痺)の対症療法、眼科領域の術後炎症、気管支喘息、小児喘息性気管支炎、喘息性気管

支炎、肺線維症、びまん性間質性肺炎、放射線肺臓炎、侵襲後肺水腫、アレルギー性鼻炎、花粉症、血管運動＜神経＞性鼻炎、喉頭炎、枯草熱、進行性壊疽性鼻炎、副鼻腔炎、喉頭ポリープ、喉頭結節、腐蝕性食道炎、喉頭浮腫、食道拡張術後、食道の炎症、直達鏡使用後、鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、アレルギー性鼻炎、花粉症、血管運動＜神経＞性鼻炎、枯草熱、進行性壊疽性鼻炎、副鼻腔炎、鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、アレルギー性鼻炎、花粉症、血管運動＜神経＞性鼻炎、枯草熱、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、副鼻腔炎、鼻茸、喉頭炎、進行性壊疽性鼻炎、喉頭ポリープ、喉頭結節、喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、急性中耳炎、耳管狭窄症、慢性中耳炎、滲出性中耳炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、耳管狭窄症、滲出性中耳炎、腐蝕性食道炎、食道拡張術後、食道の炎症、直達鏡使用後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

デキサート注射液3.3mgの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、感染症のある関節腔内、感染症のある滑液嚢内、感染症のある腱周囲、感染症のある腱鞘内、動揺関節の関節腔内、デスマプレシン酢酸塩水和物投与中＜男性における夜間多尿による夜間頻尿＞、アスナプレビル投与中、ダクラタスビル塩酸塩投与中、リルピビリン塩酸塩投与中、RPV・TAF・FTC投与中、ドルテグラビルナトリウム・リルピビリン塩酸塩投与中
2. 全身の真菌症、有効な抗菌剤の存在しない感染症、消化性潰瘍、精神病、結核性疾患、単純疱疹性角膜炎、後嚢白内障、緑内障、高血圧症、電解質異常、血栓症、最近行った内臓の手術創、急性心筋梗塞の既往、コントロール不良の糖尿病、急性化膿性眼疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患、ウイルス性角膜炎疾患、ウイルス性結膜疾患
3. 褐色細胞腫、感染症＜有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症を除く＞、糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺機能低下、脂肪肝、脂肪塞栓症、B型肝炎ウイルスキャリア、投与開始前にHBs抗原陰性、薬物に過敏な喘息、食物に過敏な喘息、添加物に過敏な喘息、褐色細胞腫又はその恐れ・疑い、パラガングリオーマ又はその恐れ・疑い、腎不全、慢性肝疾患

記載場所 使用上の注意

注意レベル 禁止

記載場所 使用上の注意

注意レベル 原則禁止

記載場所 使用上の注意

注意レベル 注意

デキサート注射液3.3mgの副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、失神、意識喪失、呼吸困難、顔面蒼白、血圧低下、誘発感染症、感染症増悪、B型肝炎ウイルス増殖による肝炎、B型肝炎ウイルス増殖、続発性副腎皮質機能不全、糖尿病、消化性潰瘍、消化管穿孔、膵炎、精神変調、うつ状態、痙攣、骨粗鬆症、大腿骨頭無菌性壊死、上腕骨頭無菌性壊死、骨頭無菌性壊死、ミオパシー、脊椎圧迫骨折、長骨病的骨折、緑内障、後嚢白内障、血栓塞栓症、喘息発作、腫瘍崩壊症候群
2. 月経異常、下痢、悪心、嘔吐、胃痛、胸やけ、腹部膨満感、口渇、食欲不振、食欲亢進、多幸症、不眠、頭痛、めまい、筋肉痛、関節痛、関節の不安定化、疼痛増悪、腫脹増悪、圧痛増悪、組織萎縮による陥没、満月様顔貌、野牛肩、窒素負平衡、脂肪肝、浮腫、血圧上昇、低カリウム性アルカローシス、中心性漿液性網脈絡膜症、網膜障害、眼球突出、白血球増多、ざ瘡、多毛、脱毛、皮膚色素沈着、皮下溢血、紫斑、皮膚線条、皮膚そう痒、発汗異常、顔面紅斑、紅斑、創傷治癒障害、皮膚菲薄化、皮膚脆弱化、脂肪織炎、発熱、疲労感、ステロイド腎症、体重増加、精子数増減、精子運動性増減、しゃっくり、刺激感、ピリピリした痛み、しびれ、ひきつり感
3. 眼圧亢進、緑内障、後嚢白内障

記載場所 重大な副作用

頻度 頻度不明

記載場所 その他の副作用

頻度 頻度不明

記載場所 使用上の注意

頻度 頻度不明

4. 腫瘍崩壊症候群	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
5. 強皮症腎クリーゼ	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
6. B型肝炎ウイルス増殖、B型肝炎ウイルス増殖による肝炎	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 誘発感染症、続発性副腎皮質機能不全、消化性潰瘍、糖尿病、精神障害、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショック、離脱症状、褐色細胞腫クリーゼ、著明な血圧上昇、動悸、感染症、心破裂、B型肝炎ウイルスによる肝炎、喘息発作を増悪、副腎不全、血圧上昇、心筋壁肥厚、催奇形作用、口蓋裂、発育抑制、頭蓋内圧亢進症状、組織萎縮<陥没>、脳性麻痺、一過性肥大型心筋症、骨粗鬆症、高血圧症、後嚢白内障、緑内障、血管痛、静脈炎、疼痛、硬結	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

デキサート注射液3.3mgの相互作用

1. 薬剤名等：生ワクチン

発現事象 ワクチン由来の感染を増強又は持続

理由・原因 免疫機能が低下している

投与条件 長期、大量、投与中止後6ヵ月以内

指示 禁止

2. 薬剤名等：デスマプレシン酢酸塩水和物

発現事象 低ナトリウム血症

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

3. 薬剤名等：ダクラタスビル塩酸塩

発現事象 血中濃度を低下させ作用を減弱

理由・原因 本剤のCYP3A4誘導作用により、これらの薬剤の代謝が促進

投与条件 本剤全身投与

指示 禁止

4. 薬剤名等：アスナプレビル

発現事象 血中濃度を低下させ作用を減弱

理由・原因 本剤のCYP3A4誘導作用により、これらの薬剤の代謝が促進

投与条件 本剤全身投与

指示 禁止

5. 薬剤名等：リルピビリン塩酸塩

発現事象	血中濃度を低下させ作用を減弱	投与条件	本剤全身投与 (ただし単回投与の場合を除く)
理由・原因	本剤のCYP3A4誘導作用により、これらの薬剤の代謝が促進	指示	禁止

6. 薬剤名等 : RPV・TAF・FTC

発現事象	血中濃度を低下させ作用を減弱	投与条件	本剤全身投与 (ただし単回投与の場合を除く)
理由・原因	本剤のCYP3A4誘導作用により、これらの薬剤の代謝が促進	指示	禁止

7. 薬剤名等 : ドルテグラビルナトリウム・リルピビリン塩酸塩

発現事象	血中濃度を低下させ作用を減弱	投与条件	本剤全身投与 (ただし単回投与の場合を除く)
理由・原因	本剤のCYP3A4誘導作用により、これらの薬剤の代謝が促進	指示	禁止

8. 薬剤名等 : バルビツール酸誘導体

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がチトクロームP450を誘導し、本剤の代謝が促進	指示	注意

9. 薬剤名等 : リファンピシン

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がチトクロームP450を誘導し、本剤の代謝が促進	指示	注意

10. 薬剤名等 : カルバマゼピン

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がチトクロームP450を誘導し、本剤の代謝が促進	指示	注意

11. 薬剤名等 : フェニトイン

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	フェニトインがチトクロームP450を誘導し、本剤の代謝が促進	指示	注意

12. 薬剤名等 : フェニトイン

発現事象	血中濃度が上昇又は低下	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

13. 薬剤名等 : サリチル酸誘導体

	発現事象	血清中のサリチル酸誘導体の濃度が増加しサリチル酸中毒	投与条件	併用時に本剤を減量
	理由・原因	本剤はサリチル酸誘導体の腎排泄と肝代謝を促進し、血清中のサリチル酸誘導体の濃度が低下	指示	注意
14.	薬剤名等	抗凝血剤		
	発現事象	作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	本剤は血液凝固促進作用がある	指示	注意
15.	薬剤名等	糖尿病用薬		
	発現事象	作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	本剤は肝臓での糖新生を促進し、末梢組織での糖利用を阻害	指示	注意
16.	薬剤名等	血圧降下剤		
	発現事象	作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
17.	薬剤名等	利尿剤		
	発現事象	作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
18.	薬剤名等	利尿剤		
	発現事象	低カリウム血症	投与条件	-
	理由・原因	本剤は尿細管でのカリウム排泄促進作用	指示	注意
19.	薬剤名等	シクロスポリン		
	発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	副腎皮質ホルモン剤の大量投与
	理由・原因	シクロスポリンの代謝を阻害	指示	注意
20.	薬剤名等	マクロライド系抗生物質		
	発現事象	副腎皮質ホルモン剤の作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	本剤の代謝が阻害	指示	注意
21.	薬剤名等	アゾール系抗真菌剤		
	発現事象	副腎皮質ホルモン剤の作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	本剤の代謝が阻害	指示	注意
22.	薬剤名等	HIVプロテアーゼ阻害剤		

発現事象	AUCが低下、本剤のAUCの上昇	投与条件	-
理由・原因	チトクロームP450に対して競合、本剤がチトクロームP450を誘導することより、これらの薬剤の代謝が促進	指示	注意

23. 薬剤名等：エフェドリン

発現事象	副腎皮質ホルモン剤の代謝が促進され血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

24. 薬剤名等：サリドマイド

発現事象	中毒性表皮壊死症<Lyell症候群>	投与条件	多発性骨髄腫
理由・原因	-	指示	注意

25. 薬剤名等：インドメタシン投与中

発現事象	デキサメタゾン抑制試験を実施すると試験結果が偽陰性	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

26. 薬剤名等：ワクチン

発現事象	神経障害、抗体反応の欠如	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』